

比較経営史特講 I

選択 2単位

大野 貴司

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、現代日本企業の経営戦略を対象として取り扱う。経営戦略とは手短に言えば、企業が目標を達成するための計画のことである。現代日本企業の経営戦略の発展、進化、変化のプロセスを明らかにすることにより、日本企業の発展と成長のプロセスを明らかにし、その現状や問題点を明らかにすることを本講義の最終的な目的としたい。

2. 授業の到達目標

- ・日本企業の現状と課題を経営戦略の視点から分析できるようになること。
- ・自身の修士論文作成において参考になる部分を見つけること。

3. 成績評価の方法および基準

- ・ディスカッションにおける貢献(発言数ではなく発言内容を重視) 50%
- ・毎回課す課題 50%

60点以上を合格とする。

※ 遅刻、無断欠席は厳しく対応する。やむを得ず欠席する場合は、事前に大野にメールすること(大野のメールアドレスは大学HPの教員紹介を参照のこと)。

4. 教科書・参考文献

教科書

沼上幹 ゼロからの経営戦略 ミネルヴァ書房

参考文献

嶋口充輝・内田和成・黒岩健一郎 1からの戦略論 碩学舎

グロービス経営大学院 [新版]グロービスMBA経営戦略 ダイヤモンド社

大野貴司 人間性重視の経営戦略論—経営性と人間性の統合を可能とする戦略理論の構築にむけて— ふくろう出版

5. 準備学修の内容

事前にテキストの該当箇所を読み、内容と問題点の整理をしておくこと。講義後は、講義で習った内容で自身の修士論文に役立ちそうな箇所を見つけること。また、関心のあるトピックについては自分で本や論文を収集し、すすんで学習すること。

6. その他履修上の注意事項

講義は、受講者同士のグループワーク、日本語によるディスカッションを中心に行う。第1～12講は教科書を使用し、第13～15講は教員の側で教材を提供する。現代の日本企業を経営戦略論の視点から分析したい学生の受講を歓迎する。前期のみの受講も歓迎する。

7. 授業内容

- 【第1回】 経営戦略論の基礎
- 【第2回】 ストライブインターナショナル
- 【第3回】 すかいらく
- 【第4回】 TOTO
- 【第5回】 幸楽苑
- 【第6回】 ハイデイ日高
- 【第7回】 パーク24
- 【第8回】 コマツ
- 【第9回】 富士重工業
- 【第10回】 富士フイルム
- 【第11回】 ヤマトホールディングス
- 【第12回】 ソニー
- 【第13回】 エフピコ
- 【第14回】 ツムラ
- 【第15回】 セブン銀行